

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所スマイスセレソソサポート小池原				公表日	R7年3月14日
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		指導訓練室を区分分けし学習スペースを設けている
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		11		基準に沿って利用人数に合わせた職員配置をしている	今後も施設基準に沿って、運営していきます	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	2	動線を確保し物を置かないようにしている	階段がある為、移動時には細心の注意を払って対応します	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		11		毎日の掃除は欠かさず清潔を保つように心がけている。また、活動に応じて環境を整えるようにしている。	視覚的な支援も取り入れ、机や椅子以外何もない空間を提供します	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		11		必要に応じて個室を使用したり、クールダウンが必要な児童に関しては一人で過ごす時間を設けている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11		定期的に個別会議を行い参加できない職員は議事録確認するなど周知を全職員に行っている	議事録で確認する等職員間での情報共有を行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		日頃からコミュニケーションをとることやアセスメントシートから保護者からの意向を把握し支援や業務改善につなげている	保護者からの意見を真摯に受け止めて業務改善につなげていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		毎月職員会議を行い情報共有し話し合いを行い、個々の強みを生かした支援を考えている	職員全員の意見を聞き業務改善につなげ、より良い事業所にします	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11	外部評価については未実施		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		研修会には参加している	外部研修の参加を促し、職員の教養を深めます	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		プログラムを作成し公表している	職員と共有しながらプログラムを良いものにしていきたい	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1	半年に一度の見直しを行い計画を作成している	定期的にあセスメントを行い、変化があれば計画の見直しを行う	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	毎日、利用児の様子や変化や課題を記録にとり職員会議や朝礼にて話し合いを行っている	毎日の記録を欠かさず利用時の変化や課題を見逃さないように支援を考えます	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	個別ファイルの確認を全職員が行い支援を行っている	計画の見直しがあった時は職員に周知し、計画に沿って支援を行います	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	個別記録を毎日とりその日の状況を記録し職員間で共有している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	2	ガイドラインに沿って計画を立て直している	5領域を踏まえた支援計画をしっかりと考えていきます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		職員の得意なこと専門的な事を活かした活動を意見を出し合って毎月の活動を考えている	個々の特性に応じた発達支援を行っています。各関	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		マンネリ化しないように毎月の職員会議などで話し合いを行っている	日々の対応に合わせた発達支援を行っています。各園との連携や、保育士と話し合う機会をもち質の向上を目指します。発達年齢に応じた課題や就学に向けての課題に重視しながら行う季節感を取り入れた活動や行事に向けた活動を毎日のプログラムに入れていきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11		個々のレベルに合わせて支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		朝礼にて確認をしている	職員間の声掛けや情報を共有して支援の向上に努めていきます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		個別記録をとり、職員間で共有している	職員間の声掛けや情報を共有して支援の向上に努めていきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		個別記録をとり、職員間で共有している	職員間の声掛けや情報を共有して支援の向上に努めていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		関係機関や保護者からの情報や意見を共有している	継続して対応します
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		児童発達支援管理者が統括するなかで職員が関わりながら立案と実施を行っている	継続し取り組んでいく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		送迎時に担任の先生に園での様子などを聞くようにしている	他の各関係機関との連携を整えます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		隣接の園などと連携を取り情報共有し理解を図っている	情報共有しより良い支援が行えるように連携していきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	2	相談支援事業所と情報交換をおこない支援がスムーズに移行できるように情報伝達を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11		助言を受ける機会が少ない為積極的に連携を取るようになります	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11		隣接園の行事に参加し、日本の行事とは少し違う体験ができる為交流をおこなっている。	法人内の年齢の近い子供と交流する機会を増やしたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		送迎の際やHUGのアプリで利用時の状況を連絡している	保護者と話をする機会を増やしていきたい
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4	保護者に対して行う機会がない	ペアレントトレーニングは実施していないがケース会議などの際に保護者へ助言、勉強会等で知識の向上に努めます	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1	契約時に説明を行っている	利用開始時や、内容変更や不明な点があればその都度説明し、丁寧な対応に努めます	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		事前の聞き取り担当者会議にて保護者のニーズを確認している	保護者の意見や要望を取り入れ、定期的に開催できる機会を検討します	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		計画を作成した際に保護者の署名をもらい同意を得ている	保護者に分かりやすく説明し丁寧な対応を行います
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		LINEアプリを使用し、個人的な悩みなどに対応している。気になる時は電話や対面で話を聞き相談に応じている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		11	父母会の開催は行ってない	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		LINEアプリを使用し、個人的な悩みなどに対応している。気になる時は電話や対面で話を聞き相談に応じている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		行事予定については園と確認して連携しながら通知している。	今後も継続し、写真等個人情報の取り扱いには十分留意して掲載、配布を行います
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		利用契約時に個人情報使用同意書の説明を行い、写真の掲示や使用に関しても同意を得ている	も個人情報の取扱いや情報漏えいに注意していきます。写真の掲載の際は事前に同意を得て確認をとる。個人情報記載されている文書の廃棄についてはシュレッターを使うなど、注意していきます
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		特性に合わせ、配布物による視覚支援を取り入れるなど配慮をしている	特性によって配慮を行うが、利用者や保護者に不公平が生じないように一貫した支援を行います
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2	未実施	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		防火訓練や避難訓練、不審者対策は年間計画を立てて毎月行っている。利用日より出来ていない児童もいる為実施日の検討が必要	職員間では周知出来ているが全てのマニュアルを家族に周知する事はできていない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		防火訓練や避難訓練、不審者対策は年間計画を立てて毎月行っている。	利用日より出来ていない児童がいる為実施日の検討が必要
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1	契約時に服薬の確認は行っている	予防接種の確認は行えていない
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		契約時にアレルギーの確認は行っている	対象の児童がいるときはダブルチェックを行い提供します
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		防火訓練や避難訓練、不審者対策は年間計画を立てて毎月行っている。	利用日より出来ていない児童がいる為実施日の検討が必要
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		防火訓練や避難訓練、不審者対策は年間計画を立てて毎月行っている。	利用日より出来ていない児童がいる為実施日の検討が必要
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		資料や報告書で共有している	ヒヤリハットは事業所内または法人内でも情報を共有し、事故を未然に防げるよう努力していきます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止に関する研修会には必ず参加している参加できない場合や資料を参考に再確認するよう	今後も積極的な研修会への参加を行います「虐待防止チェックシート」表を用いて定期的に行い、改善を図ります
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		必要性が低く身体拘束は行ってない	身体拘束の必要性は低いが、身体拘束の原則を職員間で確認します	